

【月案】 2月・4歳児

今月の保育のポイント

- 自分で出来ることは自分でやり遂げ、身の回りのことは手伝わなくても自分達でやろうとしている時期。できたことが次につながるよう、グループで何かをする経験を少しずつ取り入れ、5歳児クラスを見据えた保育を展開する。
- それぞれの育ちが見える時期で、自分の好きなことや得意なことが明確に見えてくる時期。子どもの興味関心に合わせた共感の言葉かけや、できるできないではない、子どものやっていることに対する価値観を認める言葉かけが子どもの自尊心を育て、伸びる力になる。
- 冬の寒さの中でも元気に友達と身体を動かして遊ぶ楽しさを経験していく。また、氷はどうやってできるのかなど、冬の自然の仕組みについても体験し、自然を味わえる環境を用意しておく。

月のねらい

- 冬に必要な生活習慣を身につけ、寒い中でも元気に過ごす。
- 遊びや活動の中で自分の思いや考えを言葉で表現し、相手と気持ちの折り合いをつけようとする。
- 冬ならではの自然に気付き、遊びに取り入れる。
- 豆まきを通して日本の風習に触れ、由来にも関心を持つ。
- 冬の季節を健康に過ごせるようにする。
- 友達と一緒にルール遊びを楽しむ。
- 1日の流れに見通しを持ったり、翌日の活動に期待を持ちながら園生活を送る。
- 異年齢児と一緒に過ごしたり、遊ぶ中で進級に向けて期待を膨らませる。

週のねらい

その1

- 1週目：豆まきに参加し、豆まきの由来や日本の風習に興味関心を持つ（教育）
- 2週目：寒い中でも元気に身体を動かして遊ぶ（教育）
- 3週目：冬の自然に気づき、遊びに取り入れて遊ぶことを楽しむ（教育）
- 4週目：遊びの中で友達と気持ちを言葉で伝え合い、折り合いをつけようとする（教育）

その2

- 1週目：異年齢児との活動を通して、年下の友だちに対し思いやりの心を持って遊ぶ（教育）
- 2週目：感染症が流行する時期なのでせっけんをしっかりと使用して手洗いし、うがいも丁寧に行うように促す（養護）
- 3週目：空気が乾燥しているので、自分で水分補給をしっかりと行う（養護）
- 4週目：冬から春にかけての自然事象に興味や関心を持ち遊びを楽しむ（教育）

その3

- 1週目：節分の製作を友達と見せ合い、作品を認め合いながら豆まきに期待を持つ（教育）
- 2週目：友達を誘ったり、誘われたりしながらルールのある遊びを楽しむ（教育）
- 3週目：生活に見通しを持ち、身の回りのことに意欲的に取り組む。（養護）
- 4週目：ひな祭りの行事に興味を持ち、製作することを楽しむ（教育）

その4

- 1週目：室内の環境を整えたり、感染症予防について働きかけ健康に過ごせるようにする（養護）
- 2週目：イメージを伝え合いながらごっこ遊びをすることを楽しむ（教育）
- 3週目：お絵かき、粘土、踊り等で自分を表現することを楽しむ（教育）
- 4週目：年長児と一緒に過ごし、年長児に対する憧れの気持ちを持つ（教育）

前月末の子どもの姿

養護（生活）

- 友達に自分の気持ちを言葉で伝えようとする子どもが増えてきている。上手く伝えられない時には保育者に伝え、保育者に仲立ちしてもらいながら伝えようとする子どももいる。
- 手洗いうがいなどの生活習慣を覚え、自ら率先して行う姿が見られる。
- 厳しい寒さが続き、戸外遊びを嫌がる子がいたり、ポケットに手を入れて遊んだりする姿もある。
- 地面や水が凍っているのに気づき、氷が割れる音や冷たい感触を楽しんでいる。
- 友達と正月の挨拶を交わすことを楽しんでいた。
- 体力がついてきたことで、室内遊びが続くと午睡をせずに過ごすことがあった。
- 料理名や正月料理の由来等、覚えたことを言葉にしながら食事を楽しんでいる。
- 年下の子を遊びに入れてあげたり、お世話をしあげたりする様子が見られていた。

教育（遊び）

- 友達と一緒にルールを守って遊べるようになり、みんなで遊ぶ楽しさを感じているが、楽しくなりすぎるとルールを忘れ、友達とトラブルが起きることもある。
- コマ回しやけん玉などの伝統的な遊びを知り、できるようになるまで遊び込んでいる。
- ごっこ遊びなどのイメージを共有して遊ぼうとするが、なかなかイメージできずに遊びに馴染めない子どももいる。お互いに見立てたものを説明したり聞いたりしながら、イメージが共有できるように子どもなりに工夫する姿がある。
- 年賀状や手紙のやりとりをする中で文字に対する関心が高まっていた。
- 跳び箱や縄跳びが跳べるようになり、意欲的な姿が見られている。
- コマや凧、紙飛行機等自分で作った物で遊ぶことを楽しんでいた。

活動内容（五領域対応）／環境構成と援助

養護（生活）

- **活**：手洗いうがいなどの生活習慣を身につけ、率先して行う。（健康）
環：手洗いうがいを率先して行う姿をしっかりと認めるようにする。
- **活**：豆まきを通して日本の風習を知り、興味を持つ。（環境）
環：行事に関して子どもの興味が湧くように、豆まきの由来を知れる絵本などを準備しておく。
- **活**：衣類の着脱を自ら行い、寒い中でも元気に過ごす。（健康）
環：汗をかいたら上着を脱ぐ、寒いなどと思ったら上着を着るなどの約束を事前に声をかけし、子どもが自分で気づいて衣類の着脱による体温調節を行えるように援助する。

- **活**：異年齢児と触れ合い、年長児に優しくしてもらおう嬉しさを感じ、年少児に優しく接しようとする。（人間関係）
環：「自分より年下の子にはやさしく教えてあげようね」「年上の子の話もよく聞こうね」等、大まかにどう振舞えば良いかを先に話しておく。
- **活**：手洗い、うがい等衛生管理に加え、自ら衣服の調節をするなど子ども自ら健康管理をする。（健康）
環：手洗いうがいは保育者も一緒に丁寧にやる。補助の必要な部分は行動の意味を話しながら丁寧に寄り添う。
- **活**：保育者などに認めてもらい自信を深め、進級に向けて期待を持ちながら様々な活動に意欲的に取り組む。（健康・人間関係）
環：出来ていること、出来るようになったことや子ども自身の頑張り、やろうとしていることを応援し、子どものやりたい方向性や思いを、ネガティブな気持ちも含めて読み取りながら肯定する。
- **活**：1日の生活に見通しを持ち、自分で気づいて行動する。（健康）
環：1日の流れを絵や平仮名、数字等で示しておき、子どもが自分で確認して行動出来るような環境を作る。又、様子に応じて一緒に確認しながら、気付いて行動できるよう関わる。
- **活**：作った作品や行動等を認め合いながら自己肯定感を高めたり、仲間意識を深める。（人間関係）
環：クラス全体の集まりで作品を発表したり、相手を思いやる姿や身の回りを清潔にしようとする姿等を知らせながら一人ひとりの自己を肯定する気持ちを育てたり、友達の良さに気づき認める気持ちに繋げる。
- **活**：生活に必要な挨拶が分かり、自ら挨拶をする。（健康・人間関係）
環：「笑顔で挨拶してくれて嬉しいな」と姿を認め、挨拶をすることの心地よさを感じられるようにし、自然に挨拶が出来るよう繰り返し関わる。
- **活**：午睡時に眠くなくても休息を取る大切さを知り、落ち着いて体を休めようとする。（健康）
環：休息の大切さについて絵や言葉等で伝え、眠れなくても体を休ませようとする気持ちに繋げる。
- **活**：給食室の先生に給食のメニューを聞き、給食を楽しみにする。（健康）
環：感染症が流行していない時は給食室の先生とも交流を図り、食事に対する意欲や期待が高まるような機会を設ける。又、少しずつ食事を作ってくれる人への感謝の気持ちが芽生えるよう関わる。
- **活**：体を動かすと体が温まることに気づき、意欲的に体を動かして遊ぶ。（健康）
環：保育者が一緒に体を動かす中で、体が温まることを共有したり、「暑くなってきた」と嬉しそうにする姿を受け止め、寒い季節の中でも意欲的に体を動かすことができるよう関わる。
- **活**：生活や遊びの中で発見したことを友達に伝え、共有する。（言葉・人間関係・環境）
環：友達と発見を共有している姿を見守り、クラス全体にも発見したことを伝えることで皆で共有する喜びに繋がったり、身の回りに対する興味や関心が継続していくよう関わる。
- **活**：節分の知識を友達や保護者に教えたり、共有する。（環境・言葉）
環：絵本や実物を用いながら由来について知らせ、理解に繋がるよう関わる。相手に伝える姿を見守りながら、知識を深められるよう関わる。

教育（遊び）

- **活**：友達と一緒に遊びのイメージを共有し、お互いの気持ちを伝え合いながら楽しく遊ぶ。（言葉・人間関係）
環：ごっこ遊びの中で「●●を作っているんだね」「これが●●なんだよね」などイメージしたものを必要に応じて相手に伝えながら、友達と一緒にイメージを膨らませて遊びを進められるよう見守り時に援助できるようにする。

- **活**：活動や遊びの中でできないことがあっても諦めず、何度も繰り返し挑戦しようとする。（人間関係・健康）
環：諦めない姿勢を認めたり、頑張っている姿を褒めるなど自信につながる声掛けをし、子ども同士でも認め合えるような空気をつくっていく。
- **活**：氷や雪などの冬ならではの自然に触れ、遊びに取り入れる楽しさを味わう。（環境）
環：落ち葉をケーキのトッピングに使用したり氷でかき氷を作るなど、遊びの中に冬の自然を取り入れて遊べるように提案したり一緒に考えたりしていく。
- **活**：劇遊びやダンスなどを通して、音楽に合わせて身体で表現することを楽しむ。（表現）
環：セリフや動きは普段使う言いやすい短い言葉や動きやすい振り付けを中心に採用する。子どもたちが役になりきって楽しめるように保育者自ら参加して一緒に楽しい空気をつくる。
- **活**：遊びや活動の中で友達と気持ちを伝え合い、自分の気持ちに折り合いをつける。（表現・言葉）
環：友達とトラブルがあった際には言葉で伝え合い、お互いの気持ちに折り合いがつけられるように援助していく。
- **活**：友達や5歳児のしていることを真似てやってみようとし、繰り返し楽しむ。（人間関係・表現）
環：5歳児には伝えにくいこともある場合、安心して伝えられるように保育者が横で一緒に見守る。クラス関わらず、子どもの面白いことや楽しそうなことを保育者も拾って拡散したり、みんなまで遊べる楽しさの手伝いを行う。
- **活**：思いや考えを言葉で表現し、相手の話を聞き、理解と共有を経て行動する。（人間関係）
環：子どもの思いが交差するときは一旦まとめて話を理解しやすいものにする。子どもの思いやイメージを受け、解決に向けて一緒に悩んだり、遊びの案を模索していく。
- **活**：心に残ったことや楽しかったことなどを絵画表現し、自分の思いを整理したり想像力を広げる。（環境・表現）
環：なかなか筆が進まない子には、「何が楽しかった？」「どんなことをした？」「誰とした？」等、具体的な絵が頭に浮かぶように補助をする。完成ののちに、子どもが描いた絵を帰りの会などの場で発表するなど、自己完結で終わらないように構成を深める。
- **活**：地面や水が凍っていることに興味を持ち、調べたり考えたりしようとする。（環境）
環：地面が凍っている感覚や氷に実際に触れられるように、水を張った氷などを前もって準備する。また、調べたり考えたりする機会を設ける。
- **活**：寒さに負けず戸外で身体を動かし、友だちや保育者と好きな遊びを楽しむ。（健康・人間関係）
環：保育者も先頭に立って遊びに参加する。寒さからかじっと動かない子にも集団遊びに誘うなどし、動く機会を提供する。
- **活**：ごっこ遊びに必要な物を考え、友達や保育者に相談しながら作ってみようとする。（言葉・表現）
環：「～があるといいのに」「～ほしい」という言葉を受け止め、一緒に作ることを提案しながら、自分が作った物で遊ぶ楽しさやごっこ遊びの充実に繋げる。イメージが膨らむよう本や写真、様々な素材を用意しておく。
- **活**：文字を使う楽しさを味わう。（人間関係・表現）
環：集中して書く姿を見守り、必要に応じて手を添えて一緒に書いたり、なぞれるように点線を書いたりしながら興味や意欲を丁寧に受け止める。文字を大いに褒めることで文字を使ってやりとりをする楽しさに繋げる。
- **活**：毛糸やお花紙の素材の特徴に気付き、工夫しながら製作することを楽しむ。（環境・表現）
環：「長い」「薄くて破れそうになる」等の気付きや手指の力を調整しながら素材に触れたり、特徴を生かしながら製作する様子を大いに認め、素材を使った遊びを楽しめるようにする。
- **活**：ルールのある遊びで勝敗を繰り返しながら様々な気持ちを経験する中で相手の気持ちにも気付く。（人間関係）

環：嬉しさや悔しさ等の気持ちに寄り添い受け止めていくことで、友達の思いにも気付き、共感したり思いやる気持ちに繋げる。

- **活：**物語に親しみを持ち、主人公の気持ちを考えたり、想像することを楽しむ。（環境）
環：落ち着いた環境の中で読み聞かせし、物語に集中出来るようにする。感じたことに共感し、自由に想像する楽しさを感じられるようにする。又、友達の違った想像を聞く中で様々な発想に気付けるようにする。
- **活：**跳び箱や縄跳び等で意欲的に遊び、体を動かすことの喜びや自信を感じる。（健康）
環：一緒に段数や回数を数えながら、以前より出来ることが増え成長していることが実感出来るように関わり、体を動かす自信や楽しさに繋げる。
- **活：**ブロックや粘土等で自分がイメージした物を形にすることを楽しむ。（表現）
環：集中して遊ぶ姿を中断することなく見守り、遊びに区切りがついた時に大いに認め、集中力や創造力に繋げる。
- **活：**立春について知り、気温や風の温度の変化、花の蕾等に気付き、季節の移り変わりを感じる。（環境）
環：「寒い冬が終わって少しずつ春になっていくよ」と立春について知らせ、春を想像しながら、遊びの中で小さな春を見つけられるように働きかける。

健康、安全面で配慮すべき事項

- 感染症が流行りやすい時期であるため、一人ひとりの小さな体調の変化に気付けるよう注意してみていく。
- 子ども自ら衣類の着脱を行う姿が見られるが、遊びに夢中で汗をかいているのに気づいていないこともある。必要に応じて声をかけ、意識できるようにする。
- 手を洗った後、すぐに手を拭かないで廊下に水を垂らしてしまう子どももいる。廊下が濡れたり手が冷えたりすることを伝え、きちんと手を拭くなどの細かなことも伝えるようにする。
- 固定遊具付近の霜や氷、屋根上の積雪等を確認しておき安全な環境を整える。
- 上着やズボンのポケットに手を入れている時は、手を出して遊ぶことを伝えたり、手袋を付けるよう言葉かけをしていく。
- 室内の換気や消毒、加湿を行ったり、小まめな水分補給ができるよう働きかけながら感染症を予防する。

今月の製作・歌・絵本・手遊び・室内室外遊び

製作

- 鬼のかざり製作／鬼の顔de豆入れ／コロコロおもちゃ

歌

- たのしいね／ウンパッパ／ゆかいに あるけば

絵本

- まゆとおに ーやまんばのむすめ まゆのおはなしー／ゆきがやんだら／マトリョーシカちゃん

手遊び

- 大きくなったら何になる／おにのパンツ／せんせいとおともだち

室内室外遊び

- 手つなぎ鬼／色鬼／氷で遊ぼう

行事

- 誕生日会
- 避難訓練
- 身体測定
- 節分（豆まき）（2月初旬）
- 建国記念日（2月11日）
- バレンタインデー（2月14日）
- 猫の日（2月22日）
- 天皇誕生日（2月23日）

食育

- 豆まきを通して日本の風習を知り、食文化に興味関心を持つ。
- 食事のマナーを覚え、姿勢やスプーンの持ち方など自ら正そうとする。
- 食べこぼしてしまったものを拾うなど、自分の周りを綺麗にしながら食事を進めようとする。
- 体を温める食材を知り、意欲的に食べる。
- 友達と会話をしながら食事をする楽しさを味わう。
- 食器を大切に扱おうとする気持ちが育つ。

地域と家庭との連携

- 冬の健康的な習慣が身につくように、手洗いうがいや衣服の調節など家庭でも子ども自身が行えるように協力をお願いする。
- 行事のねらいや取り組みの過程などを伝え、当日の様子を写真やお便りで見てもらうことで子どももの成長を感じてもらえるようにする。
- 身支度や片付け手伝いを通して、子ども自身が成長を感じられるように十分に褒めて自信を持てる声かけの大切さを伝えて、家庭でも協力して貰えるようお願いをする。
- 進級に向けての疑問や不安なこと等を丁寧に受け止めて返答したり、成長しているところを共有していくことで安心感に繋げる。
- 家庭と園で体調を共有しながら、迅速に対応できるよう努める。
- 地域内の感染症流行状況について把握しておき、早期対応に努める。

自己評価

- 友達と一緒に遊ぶ中で、自分の気持ちを言葉で相手に伝えることができたか。
- ルールを守りながら遊び、友達と話し合いながら遊ぶ楽しさを感じることができたか。
- 寒い中でも戸外遊びを楽しみ、思いっきり身体を動かして遊ぶことができたか。
- 氷などに触れる機会を持ち、遊びに取り入れることができたか。

- 友達と一緒にイメージを膨らませながら遊びを進める楽しさを味わえたか。
- 一人ひとりの健康状態を把握し、体調の変化に迅速に対応できたか。
- 感染症の予防や拡大を防止する環境を整えていたか。
- 生活の流れに見通しを持ち、進んで身の回りのことを行っていたか。
- 異年齢で交流する中で、優しくしてあげようとする気持ちや憧れの気持ちが芽生えていたか。
- 節分やひな祭り等の行事に興味を持っていたか。